



蒲小だより

未来を拓く児童の育成



文責 校長 山本 智文

さわやかな5月となりました

さわやかな5月となりました。ゴールデンウィークはいかがお過ごしだったでしょうか。それぞれのご家庭で有意義な時間を送られたと思います。

4月27日（土）には、早朝より来校してくださりありがとうございました。

1年生にとっては小学校に入学して初めての参観日、2年生から6年生も久しぶりの参観日となりました。新しいクラス、新しい先生との授業はどのクラスも落ち着いており、頑張る姿を観ていただけたことと思います。

P T A総会では、多くの保護者の方々にご参加いただき感謝いたします。教職員一同、知・徳・体のバランスのとれた児童の育成に向け力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

また、今年度のP T Aの役員の皆様、役を引き受けてくださりありがとうございます。今年度、蒲刈小学校をどうぞよろしくお願いいたします。

小中合同遠足、ゴールデンウィークが終わり、これから本格的に5月25日（土）に開催する「小中合同運動会」の練習が始まります。練習により疲れて帰ることがあるかもしれませんが、お子様の体調管理をよろしくお願い致します。

校長 山本 智文

授業の様子



1年生 算数



2年生 国語



3年生 算数



4年生 算数



5・6年生 道徳



オレンジ 道徳

“答えは「子どもの中」にある”

一般的に「説教」とは、「堅苦しい教訓的な話」や「注意・小言」の意に用いられます。また、説教は、「こうすべきだ」と断言することです。説教は、「自分の言っていることを相手に認めさせたい」と思っていることであり、そこから脱却できるかどうかは、アドバイスや提案として表現するか、愚痴や説教として表現するか否かの違いが非常に重要になってきます。以下、遅刻した児童と教師の会話について、「NG会話」と「OK会話」の例をあげてお話ししていきます。

◆NG会話◆

教師「山本さん、また遅刻ですね。いったいあなたは何度言ったら分かるの？」

山本「でも、今日は3分です。」

教師「3分でも遅刻は遅刻です。みんなができることをあなたはなぜできないの？」

山本「……。」

教師「君のお兄さんは、遅刻しなかったですよ。」

山本「……。」

教師「これからは遅刻しないこと。いいわね！」

山本「……はい……。」



【解説】

問題解決の意欲と言葉の選び方に問題があるため、お互いの信頼関係にさらに溝をつくってしまうこととなります。「みんなができることをあなたはなぜできないの？」では、「みんなとあなたを比べて劣っていること」と「なぜできないかということ」の二つを同時に責められているように受け止めてしまうこととなります。また、「お兄さんは、遅刻しなかったですよ。」では、自分の兄弟と比較され非難されているような感じをメッセージとして与えてしまうこととなります。このような会話を繰り返していると、何を生産してしまうことになるか、想像してみてください。何もしなげずに、子どもから積極的に行動を起こすケースはそんなに多くはないでしょう。そのことをしっかりと意識し、しかけていかなければならないと考えています。子どもたちから「やる気」を引き出すことは可能です。これはひとえに、「現実をとらえ、自分の行動を納得させること」です。納得すれば、子どもたちは自発的に動き出すのです。説教には、上からものを言う関係とその背景には、批判があります。「説得」には、「批判」はありません。同じような行動を起こしたとしても、そこに至るプロセスの違いで意欲や行動、そして、学習に対して雲泥の差が出るのです。

♥OK会話♥

教師「山本さん、また遅刻ですね。」

山本「でも、3分ですよ。」

教師「3分でも遅刻です。残念。」「ところで、なぜ、3分だったのですか？」

【ポイント①】

昨日までを引きずることなく、この段階のコミュニケーションをとらえることが大切になります。昨日と今日は違うし、明日もまた新しい明日という心構えをもつことです。

教師「さて、チャイム前に到着するためにはどうしたらいいと思うか？」

【ポイント②】

真の問題には焦点を当てず、いきなり「問題解決のアイデアを引き出す手法」。重苦しい感情を取り除くのです。

教師「遅刻が一つもなくなったとしたら、どんな状態になりますか？どんな気持ちになりますか？」「それはなぜ？」「そのために障害になっていることは何ですか？」「具体的に言うと？」等。

【ポイント③】

○「問題をつくり出している自分」と「遅刻の行為」を切り離し、客観的に考えさせることです。

○目標や問題、そのギャップや感情等を共有する。同じ絵を見る。

○「抽象的なもの」を「具現化」させる。今起きていることを論理的に整理させる。

教師「う〜ん。布団でつい二度寝してしまうのは、睡眠不足でもあるわけね？では、どうする？」

山本「親に頼んで、目覚まし時計を鳴らしてもらおうかな。」

教師「う〜ん。それは賛成できないな。他には？」「ちょっと提案なんだけど、たとえば、人に頼るのでは

なく、自分のルールをうみ出すというのは、どう？」

【ポイント④】

教師が考える良い方法も提案や要望という形で伝え、他の方法を作り出す呼び水にする。「選択」は自分でさせるのです。いわゆる「自己決定」をさせるのです。それが最も良い方法で、納得ずくの時は、具体的な方法や工夫等は自分で考えさせ、自発をうながすのです。

山本「分かりました。考えてみます。」

教師「いつまでにできそう？」

山本「友だちに相談して、明日、お伝えします。」

教師「いいねえ。誰かサポートしてもらえそう？」

山本「う～ん。事がうまく進むように、Aさんに話してみます。」

教師「自分で考えた計画がすべて達成できたら、どんな気持ちになるかなあ？」

山本「え…。よく分かんないけど、父さんや母さんが喜ぶと思います。」

教師「理想の状態が10だとすると、今は何点？」「あと、3点アップさせるには？」「何からどのようにチャレンジする？」

山本「今は2点かな。う～ん、目覚まし時計を一つ増やして、置き場所を変えてみる！」

教師「最もつまづきそうな点は何？」

山本「さっさと寝ないで、漫画を読んじゃいそうな気もするけど…。」

教師「それはどうしたらいいと思う？前もってできる事は？」

山本「ちょっと読みすぎなので、気を付けます。それから、親にも話しておいて協力してもらおうことかな。でも、とりあえず、自分でやってみます。」

教師「はい。分かりました。きっとできると思うよ。次の報告、待ってます。」

【ポイント⑤】

○起こりうる状況を予測させ、事前に対策をねっておく。

○現実的な行動をつくらせる。曖昧なものを「可視化」させる。「優先順位」を明確に持たせる。あらゆる資源に目を向けさせる。気持ちの重さを軽くする。子どもに寄り添う（共にいる）。期待をかける。進捗状況を報告させる。フォローを必ずする。

【ポイント⑥】

このように、常に子どもに寄り添い、思いを引き出し「自己決定」させていくことが、これからの教育、これからの教師に求められてくると私は考えています。

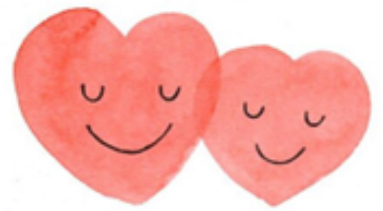
👉昨年度に引き続き、長々と書いてしまいました。でも、お付き合いくださいますと嬉しいです…。

「全校遊び」にチャレンジ!

4月23日(火)の昼休憩に、体育館で「全校遊び」にチャレンジしました。縦割り班に分かれて、自分たちで遊びを決めて楽しい一時を過ごしました。1年生から6年生までが一堂に会して「だるまさんがころんだ」に夢中になって楽しんでいる様子を観ていると、こちらまで楽しくなりました。特に、1年生がお兄さん・お姉さんたちと楽しく過ごしている姿がとても印象的でした。すっかりと蒲刈小学校の一員として生活できていることに心から喜びを感じているところです。見守っている先生方が満面の笑みをうかべて子どもたちの遊びに注目している姿が素敵でした。

全校でいろいろなことにチャレンジできる蒲刈小学校、子どもたちみんなが仲良く楽しく生活できる環境が整っていることに、校長として心から「感謝」「感謝」です。

今年度も蒲刈小学校では、さまざまなしかけや企画をしています。子どもたちの体験が経験となり、一回りも二回りも大きく成長することを心から願っています。



小中合同遠足 ➔ 小・中交流会

今年度も「小・中合同遠足」を企画しましたがあいにくの雨だったので、下蒲刈町の「大津泊公園」には行かず、中学校の体育館で「小・中交流会」を行いました。

私は、最初の挨拶の中で、「本年度の学校教育目標について」「今年度蒲刈中学校区として取り組ぶ重点課題（自己表現力の育成・自己肯定感を高める）」の2点について話しました。子どもたちに蒲刈中学校区のチャレンジする方向性を意識してもらいたく話しました。少しかた苦しい話になったかとは思いますが、子どもたちはうなずきながら聞いてくれました。話の最後に述べた言葉は、「今日のこの行事が、令和6年度の小・中学校のスタートとなる1回目となります。限られた時間ですが、しっかりと小・中学生がつながってほしい。中学生のみなさん、小学生をよろしく願います。あななたちの姿が小学生のモデルとなります。期待しています。小学生のみなさんは、中学生のお兄さん・お姉さんのすてきなところをたくさん見つけてください。それでは、すてきな時間にしていきましょう。」と締めくくりました。その後、小学生36名と中学生25名、合計61名が6つの縦割り班に分かれて自己紹介や記念撮影、ゲーム等を通して楽しい一時を過ごしました。

時折見せる、楽しく笑う子どもたちの姿や満面の笑みを浮かべて楽しく活動する子どもたちの姿がとても印象に残りました。改めて、小・中学生が一堂に会して、共に活動できる時間を共有できることはとても幸せな事だなあと痛感しました。中学校のお兄さん・お姉さんと食べたお弁当はとても美味しく感じられたことでしょう。令和6年度の良いスタートが切れました。



みんなで自己紹介をしました



1年生が自己紹介をしました



楽しい一時を過ごしました

スクールカウンセラー

今年度のスクールカウンセラーは、小林裕子（こばやし ゆうこ）先生です。

小学校の来校日は、6月25日（火）からです。今後は行事予定でご確認ください。相談を希望される方は、事前に小学校にお知らせください。

小林先生は蒲刈中学校に毎週火曜日に来校されますので、中学校での相談も可能です。（中学校での相談の場合も小学校にお知らせください。）



「楽しんだ者が必ず勝つ ～魅せろ 蒲刈魂～」

小学校「笑顔満点委員会」と中学校生徒会執行部で、今年度の運動会のテーマを話し合っ

て決めました。両校代表として、よりよい蒲刈中学校区にするために真剣に話し合いました。児童生徒の取組にご声援をお願いします。



バス置き去り防止



スクールバスを利用している子どもたちがバスに置き去りにされた場合の訓練をしました。

窓の開け方やクラクションの鳴らし方を体験していきました。毎年を取組ですが、続けることに意義があります。